

令和 8 年度

熊本県立大学 総合管理学部

総合管理学科

一般選抜(前期日程) 個別学力検査

小 論 文

問 題 用 紙

- (1) 問題用紙は、この表紙を含めて14ページあります。
- (2) 問題は、全部で4問（問題1から問題4まで）あります。4問すべてに答えなさい。
- (3) 解答用紙の指定の欄に、受験番号、氏名を記入しなさい。
- (4) この問題用紙及び下書き用紙は持ち帰って結構です。

(入試問題は、4 ページからです。)

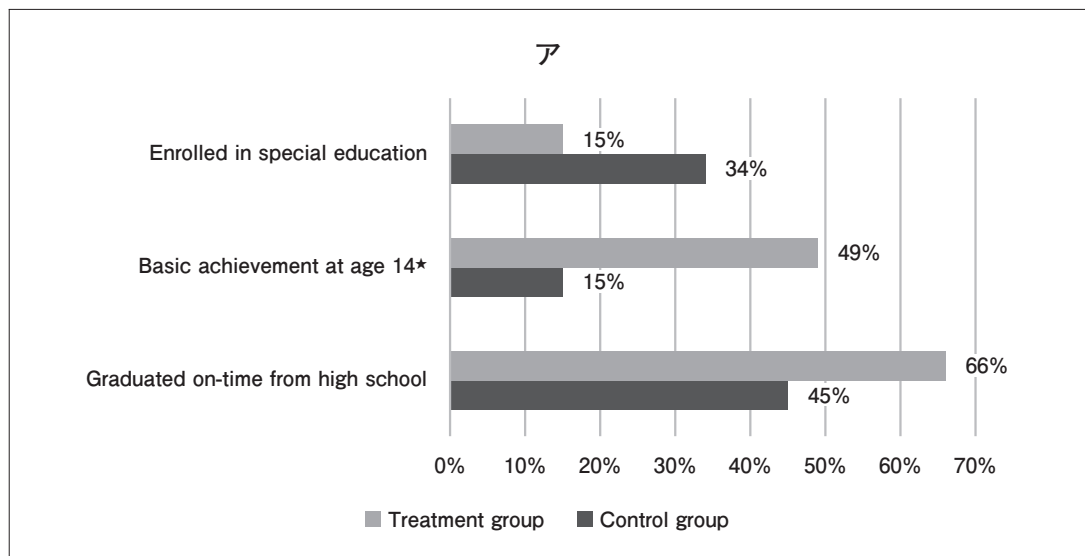
(入試問題は、4 ページからです。)

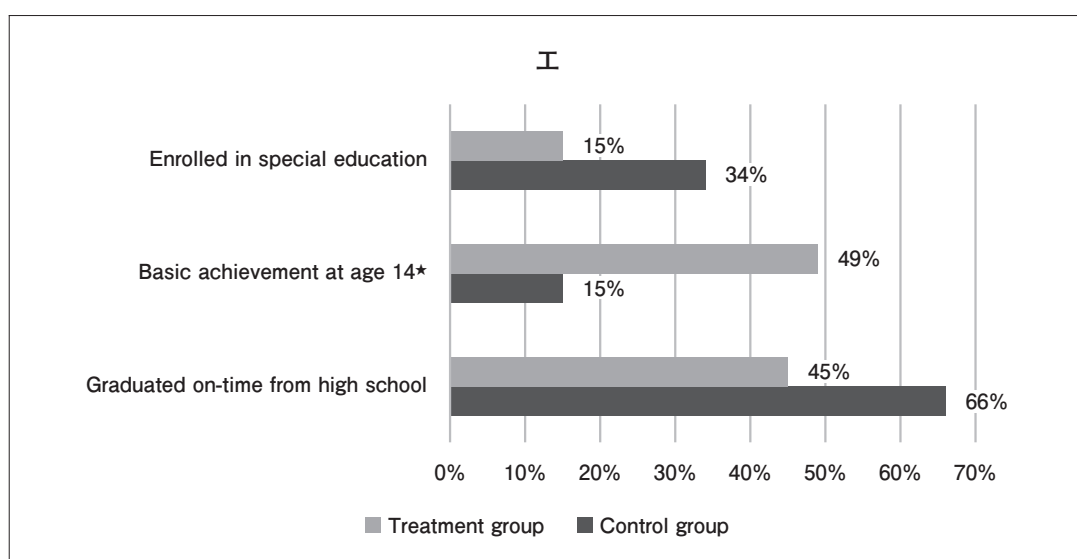
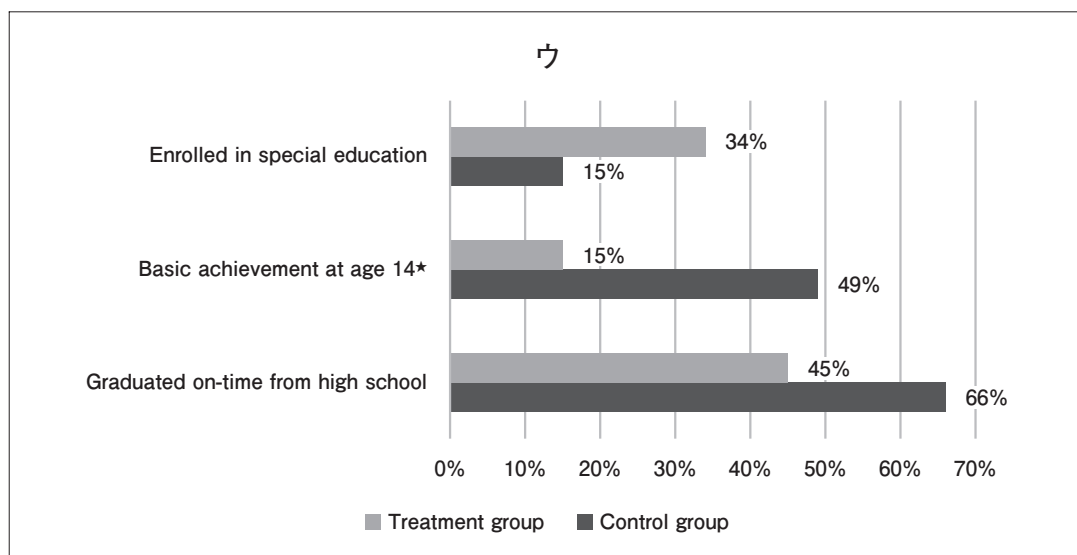
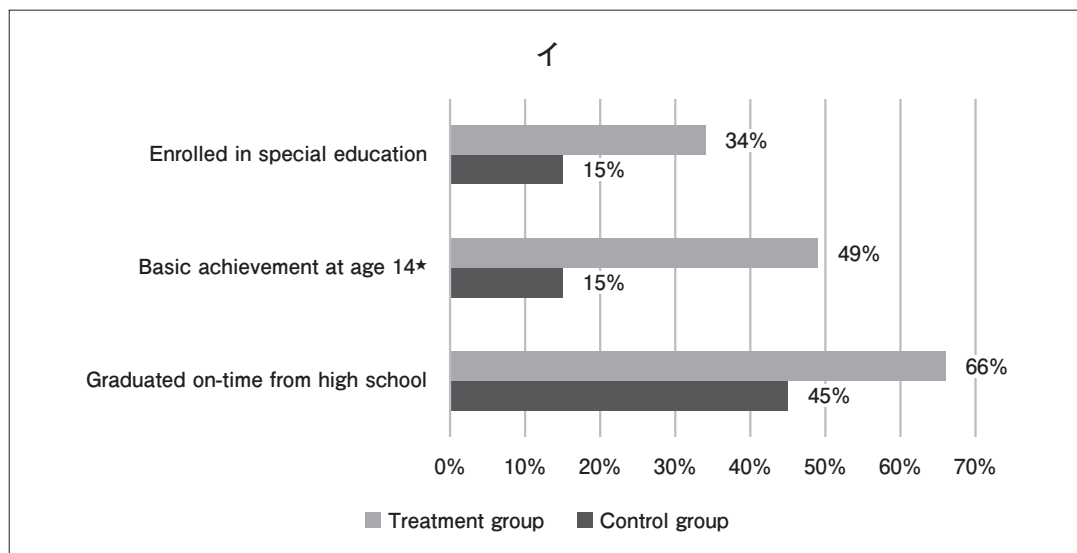
問題1 資料1を読み、以下の(1)から(3)の問いに答えなさい。

- (1) 下線部の㉗㉘㉙のカタカナを漢字で書き、㉚㉛の読みをひらがなで書きなさい。
- (2) 以下のアからエの記述について、資料1に記述されている内容として適切なものには○を、不適切なものには×を書きなさい。
- ア 高学歴の教員は、生徒の非認知能力を伸ばすことに長けている。
- イ 2007年の法改正後に、インドのデリーの私立学校に元々通っていた生徒の成績が下がった。
- ウ 非認知能力には忍耐力、リーダーシップ、責任感、社会性が含まれる。
- エ 学習塾に通っている子どもは認知能力を伸ばすことができる。
- (3) 波線部の記述について、その根拠を180字以内で要約しなさい。

問題2 資料1の内容を踏まえて資料2を読み、以下の(1)から(4)の問いに答えなさい。

- (1) Figure 4.1 は、ペリー就学前プロジェクトの効果を教育的効果と40歳時点での経済的効果に分けて示した図である。空欄にした教育的効果の図として適切なものを以下のアからエの中から1つ選び、記号で答えなさい。





* ★の注釈は p. 13 の Figure 4.2 の Source に記載されている。

* Enrolled in special education 特別支援教育の受講

- (2) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (3) 以下のアからエの記述について、ペリー就学前プロジェクトの処置グループが受けた就学前教育の内容として、適切なものには○を、不適切なものには×を書きなさい。
- ア 就学前教育はオンラインで実施された。
- イ 就学前教育にかかる時間は平日より週末のほうが長かった。
- ウ 子どもは教師が考えた遊びを実践するよう促された。
- エ 就学前教育を実施した期間は1年未満であった。
- (4) **資料2**のタイトルとして、最も適切なものを以下のアからエの中から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア More than Cognition
- イ Early Life Matters
- ウ Genetic determinism
- エ Early Interventions Make a Difference

問題3 **資料3**を読み、以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

- (1) 表1と表2の空欄①から空欄④に入る数値を答えなさい。割合は小数第二位を四捨五入して、小数第一位まで求めなさい。
- (2) 教師と保育人材の過不足状況について読みとれることを、その根拠を示しつつ150字以内で述べなさい。

問題4 **資料1**から**資料3**を全て用いて、子どもの非認知能力を向上させるうえで、日本にはどのような問題があるのかを200字以内で論じなさい。

資料 1

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) 中室牧子『科学的根拠（エビデンス）で子育て—教育経済学の最前線』ダイヤモンド社（2024年）、43～44頁、68～69頁、74～77頁、79～84頁〈一部抜粋〉。資料1の文章は、設問の関係上、出典の原文にある太字の箇所を太字でなくしている。同様に、詳細な参考文献の情報が掲載された注を削除している。

資料2

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) James J. Heckman, “Giving kids a fair chance”, Cambridge: The MIT Press, 2013, pp.26–33. 〈一部抜粋〉。設問の関係上、詳細な参考文献等の情報が掲載された注を削除している。

- * experiment 実験。ここでいう実験とはランダム化比較実験のことである。この実験は、対象者をランダムに処置グループ (treatment group) と対照グループ (control group) に分け (random assignment)、処置グループのみに介入し (intervention)、2つのグループの結果を比較することで、介入の効果を明らかにする方法である。例えば、薬の治験では、患者をランダムに処置グループと対照グループに分け、前者だけに薬を与えてから (後者には偽薬を与える) 両者の経過を観察して、薬の効果を検証する。なお、実験の設計によっては、グループの数を2つ以上に分けることもある。
- * genetic determinism 遺伝子決定論
- * underscore ～を強調する
- * preschool 就学前の
- * curriculum カリキュラム
- * adolescent 思春期の
- * special education 特別支援教育
- * incarcerate 投獄・収監する

資料 3

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(出典) 表1は文部科学省『『教師不足』に関する実態調査』(2022年1月) p.4のデータより作成。表2は三菱UFJリサーチ&コンサルティング「保育人材確保にむけた効果的な取組手法等に関する調査研究報告書」(2025年3月)の図表65・図表69のデータより作成。

https://www.mext.go.jp/content/20220128-mxt_kyoikujinzai01-000020293-1.pdf

https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2025/04/koukai_250428_03_02.pdf